

準決勝第一試合

柏イーグルス(B)対ヴィスポ柏99FC (3 - 1)

開始そうそう、ヴィスポ10番駒形君からのパスで攻撃を組み立てていくが、イーグルスの厚い守備で決定機までつくれず。前半9分、ヴィスポ10番駒形君のF.KはイーグルスのG.K山口君がナイスセーブで惜しくも得点ならず。試合が動いたのは、前半18分、ヴィスポ10番駒形君がドリブルできりこみファールを受けてF.Kをもらう。それをそのまま蹴りこみゴールイン。両チーム共、中盤での激しいボールの奪い合いの末、前半は、1-0でヴィスポリードで折り返す。後半3分、ヴィスポG.K熊谷君がハンドして、イーグルス5番廣瀬君のF.Kが直接ゴールイン。この1点でイーグルスは落ち着きを取り戻し前線からプレッシャーをかけていき徐々にイーグルスペースに。後半5分、イーグルス5番廣瀬君のミドルシュートがきまる。後半12分、イーグルス11番新行内君がヴィスポのゴールキックを前で奪いそのまま押込みゴール。後半14分、ヴィスポ10番駒形君が左サイドからセンタリングをあげるがあわしきれず。残り5分、ヴィスポ10番駒形君を中心に徐々にゲームを支配していくが攻めきれずそのまま無情にも試合終了の笛がなる。両チーム共、いい中盤の選手が揃っており得点ほどの差はなかったと思う。

荒木 寿洋 記

準決勝第二試合

藤崎FC(T)対市川K・I FC (3 - 1)

立ち上がりK・I FCが優勢に試合を進めるも藤崎が徐々にペースをつかみ、前半8分藤崎4番谷田の左足の強烈なシュートで先制。その後も10番大藤のシュートでK・Iゴールを脅かす。16分市川K・Iがチャンスをつかみ、48番平井がシュートをするもG.Kに阻まれるが、直後、裏に出たボールを同じく平井が押込み同点とする。その後は市川K・Iがロングボールを多用し、ペースをつかみ前半終了。後半に入ると、お互いの中盤のプレスによって、一進一退を繰り返す。藤崎は続けてはなかった2本のシュートでリズムを作り、後半14分藤崎16番山本の30mミドルシュートが決まり一歩リード。その後、後半19分に藤崎19番佐藤のシュートで、決勝進出を確実なものにする。藤崎はボールをよくつないで得点。市川K・Iはカウンターで俊足FWを走らせる展開。お互い、持ち味を生かした好ゲームであった。

今橋 一 記

決勝戦

柏イーグルス(B)対藤崎SC(T) (1 - 0)

藤崎ボールでキックオフ。前半6分、藤崎4番谷田君のドリブル突破でC.Kを得るも、得点に結びつかず。前がかりになってる藤崎陣地にカウンターでイーグルス7番大木君、9番伊藤君が抜け出すが、藤崎G.K田立君のセービングにあい得点ならず。イーグルスは、前半14分、3本目のC.Kで9番伊藤君がゴール前の混戦をおしこみ先制点を奪う。17分、イーグルス9番伊藤君が裏へ抜け出してシュートを放つが惜しくもクロスバーの上。対して藤崎は、4番谷田君を中心にゲームを組み立てるが、イーグルスの素早いディフェンスにあいなかなかゴールまで運べず前半は、1-0イーグルスリードで折り返す。後半12分、イーグルス9番伊藤君がG.Kと1対1でシュートを放つがキーパー正面でゴールならず。後半14分、藤崎19番佐藤君がドリブル突破してC.Kをえるも、得点までは結びつかず、その後も、4番谷田君、10番大藤君を中心に攻撃をしかけるもイーグルスのディフェンス陣に阻まれゴールまでもっていかずタイムアップの笛がなる。イーグルスの堅いディフェンス、藤崎のサイドを使った攻撃といった内容で決勝戦にふさわしい好ゲームでした。

荒木 寿洋 記